

## 子育て支援について

**質問** ファミリーサポートセンターについて、事業実績や問題点について問う。

**答弁** 鈴鹿市では、この事業は、平成17年3月に仕事と育児の両立ができる環境を整備することを目的とし子育て支援を行うため、鈴鹿市ファミリーサポートセンターを設置し、「こどもサポート鈴鹿」に事業委託している。本年8月31日現在、

1,098名の方が登録されており、昨年度より、依頼会員84名、提供会員20名、両方会員8名増加し、会員数の増加とともに利用件数も増えている。雇用形態の多様化などにより、援助が必要な時に支援をうけることができるこの事業の存在意義が、益々大きくなっており、今後さらに受入体制の充実を図り、層の厚い提供会員を確保していくため、NPO法人こどもサポート鈴鹿と連携しながら進めていく。

**その他の質問** ○シティセールスについて

## 地域活動について

**質問** ウミガメなど絶滅危惧種の野生生物の保護、自然環境の保護、保全に対する基本的な考え方、条例を含めた今後の取組みについて問う。

**答弁** 鼓ヶ浦海岸で123匹ものアカウミガメが孵化し、巣立っていった背景には地域活動として清掃活動であったり、環境教育の一環として取り

組んだ結果であると思います。本市として市民の取組みにより望ましい環境を確保し、その意義を次世代に引き継いでいくことを目的として、自然環境の維持、保全などの取組みを、市民、事業者等と協働により推進していきます。条例においては観光資源であったり、全国的に特筆すべき種の場合において条例による規制が必要と思われるが、現時点ではその状況ではない。

**その他の質問** ○教職員人事について

## 鈴鹿市の第二学校給食センターについて

**質問** 給食の中学校内での安全性、給食時間までの保管・管理はどのように考えているのか。また、給食になることでの先生の負担増及び給食費の徴収についてはどうか。

**答弁** 学校給食衛生管理基準に従い安全管理を行う。調理後の給食については、2時間以内の喫食・適正な温度管理が求められていることから、

調理済食品の衛生面での安全性を確保するために、空調機を整備した「配膳室」「保管庫」にて給食開始時刻間際まで温度管理を行う。学校給食の実施により先生には、給食指導や配膳室等の施設管理といった業務の増加が考えられる。給食費の徴収については、小学校における給食費の取り扱いと同様に学校現場と連携し取り組む。

**その他の質問** ○ソーラー建設について

## 安全で安心なまちづくり

**質問** 通学路集落間防犯灯について、設置目標灯数と現在の設置台数は。設置に関しての課題及び問題点はどのようなものか。今後の設置推進強化策についてはどうかを問う。

**答弁** 設置目標灯数は1,100灯とする。費用の総額は約4,200万円である。1灯あたりは約8万円である。現在の設置灯数は83灯である。平成21年

4月「鈴鹿市通学路集落間防犯灯管理費補助金交付要綱」を定め一定期間の電気代の補助をすることで促進を図ってきたが、設置場所が自治会の境界で複数の自治会にまたがり調整が困難であった。平成25年3月改正「鈴鹿市自治会等防犯灯設置費補助金交付要綱」では、集落間防犯灯設置費用は上限はあるが全額市の負担となった。電気代の管理費補助金交付期間も要綱の見直し付則を活用する。市が直轄灯として管理する手法は時間を頂き、様々な角度から検討したい。